

## 入札監視委員会定例会議 議事概要

- 1 開催日 令和2年6月5日（金）（※会議資料送付日）
- 2 場 所 書面開催
- 3 委 員  
[委員長]  
井上憲男（一般財団法人顧問）  
[委員]（五十音順）  
大枝良直（大学准教授）、半田萬（弁護士）、山口謙太郎（大学教授）
- 4 審議対象期間 令和元年10月1日～令和2年3月31日
- 5 抽出件数

	入札方式別	抽出件数
1	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約（工事）	1件
2	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、落札率が高い契約（工事）	1件
3	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一者応札・応募の契約（工事）	1件
4	指名競争入札方式（工事）	1件
-	随意契約方式（工事）	該当なし
5	一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約（業務等）	1件
6	落札率が高い契約（業務等）	1件
7	一者応札・応募の契約（業務等）	1件
	抽出件数（計）	7件

- 6 委員からの意見・質問それに対する回答  
別紙のとおり。
- 7 委員会による意見の具申又は勧告の内容  
なし。

以 上

	意見等	回答
1	<p><b>【R1－長住ほか1団地給水施設改良（直結増圧化）その他工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何社程度参加可能であったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札参加条件の緩和（同種工事の実績、配置予定技術者の施工実績の緩和）を行っているため、多くの社が参加可能であったと思われる。</li> <li>ただし、技術者の配置、入居者がお住いの中で進める工事であることが参加に至らない主な要因と認識している。</li> </ul>
2	<p><b>【R1－春日公園団地屋外整備工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術評価点についている基礎点とは何か。</li> <li>・評価値の算出の仕方は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価値の算出方法における標準点のことであり、発注者の示す最低限の要求条件を満たした場合に付与するもので、原則として一律100点を付与するもの。</li> <li>・本件で採用した除算方式における算出方法（数式）は、以下のとおり。</li> </ul> <p>評価値＝技術評価点/入札価格            ＝（標準点100点＋加算点）/入札価格</p>
3	<p><b>【R1－アーベイン美野島機械式駐車設備取替（昇降横行式）工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何社程度参加可能であったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格要件として求めている「機械設置」認定を有している社は相当数いるが、そのうち「同種工事の施工実績」として当機構で把握することが可能な会社数は、機械式駐車場の市場が小さいことに加えて、当機構による発注実績も少ないため、かなり限られる。</li> <li>そのため「同種工事の施工実績」については当機構以外からの受注実績でも可としている。</li> </ul>
4	<p><b>【【URコミュニティ】R1－黒崎平尾町ほか1団地屋根防水修繕工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応札した4社のうち予定価格を下回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格を上回る入札が多い点について</li> </ul>

	<p>っているのは1社であるが、原因や対策は何か考えられるか。</p> <p>・辞退が10社中6者あるが、毎回辞退しているような業者があるのであれば、理由を聴取したり警告したりすることはできないのか。</p> <p>5 <b>【令和2年度九州支社管轄団地（福岡・北九州地区）における法定点検等業務】</b></p> <p>・エリア毎に発注する等、分割して発注できなかったのか。</p> <p>・評価値が他の案件と比べて低い気がする。</p> <p>6 <b>【九大箱崎南地区地下通路等基本設計業務】</b></p> <p>・年度末の繁忙期に技術者を確保できないのは予想できることである。この時期以外に業務実施できるような年度計画を立てることはできないのか。</p> <p>7 <b>【【URコミュニティ】R2-UR賃貸住宅給水施設等維持管理業務（箱崎団地他63団地）】</b></p> <p>・対抗業者が現れない限り、関係法人1社応札の状況は続くと思われる。技術者不足で応札できない業者がアウトソーシング業者から技術者の派遣を受けて、参加可能となり得るのか。</p>	<p>は、工事対象が複数団地で小規模の住棟が多いことや団地敷地内に作業ヤードの確保が難しいことにより、工事価格が上昇したと思われる。</p> <p>・辞退した業者からは、技術者不足や他工事施工中で新たな受注が困難であったためと聞いている。</p> <p>・事故を未然に防ぎ、適切に維持管理していくためには修繕措置の判定を統一的・効率的に行う必要があることから前回と同規模での発注（全社的に同じ考え方）としている。</p> <p>・評価項目が異なるため、単純に比較できないが、本件については、次世代育成支援対策取組みなどの項目において加点されなかったことから高い評価値とならなかった。</p> <p>・本業務については、鉄道事業を行う福岡市交通局との設計条件等の協議が整った後、速やかに公募を行ったもの。</p> <p>・本業務については、監理技術者、主任技術者に係る業務の再委託は認めていないが、日常点検や緊急事故処理業務等については、再委託を認めており、アウトソーシング業者を活用した参加は差し支えないものとしている。</p>
--	---	--